

1 調査名称：由利本荘市総合都市交通体系調査

2 調査主体：由利本荘市

3 調査圏域：由利本荘都市圏

4 調査期間：平成27年度～平成29年度

5 調査概要：

由利本荘市における都市計画道路整備状況は、計画延長約86kmのうち、約48kmが改良済みとなっているが、高速道路を除く改良済み延長については30%程度と低い状況である。

また、長期未着手路線もあり、平成24年に策定した「由利本荘都市計画区域マスタープラン」においては、「土地利用の変化等による合理的な都市計画道路の見直しや高齢化社会に向けた歩行者に優しい交通環境等の充実が必要」とされており、社会情勢の変化を踏まえたコンパクトな都市形成に資する、都市計画道路の再編が必要となっていることから、平成27年度からの3年間で道路網の見直しを含めた交通計画の策定を行うものである。

初年度にあたる平成27年度は、都市交通の実態を把握し多様な課題に対応した計画策定のための基礎資料とすることを目的として、交通実態調査及び交通量調査を実施する。

I 調査概要

1 調査名称：由利本荘市総合都市交通体系調査

2 報告書目次

1章 業務概要

1－1 業務の目的

1－2 業務概要

1－3 業務フロー

1－4 業務項目

2章 交通実態調査

2－1 調査準備

2－2 交通実態調査結果（アンケート調査）

2－3 設問別基礎集計結果

3章 交通量調査

3－1 調査計画（由利本荘市内）

3－2 調査結果（由利本荘市内）

4章 今後の検討方針

5章 参考資料

5－1 実施計画書（由利本荘市内）

5－2 交通量調査結果（由利本荘市内）

3 調査体制：検討委員会は平成 28 年度に設置予定。

4 委員会名簿等：検討委員会は平成 28 年度に設置予定。

II 調査成果

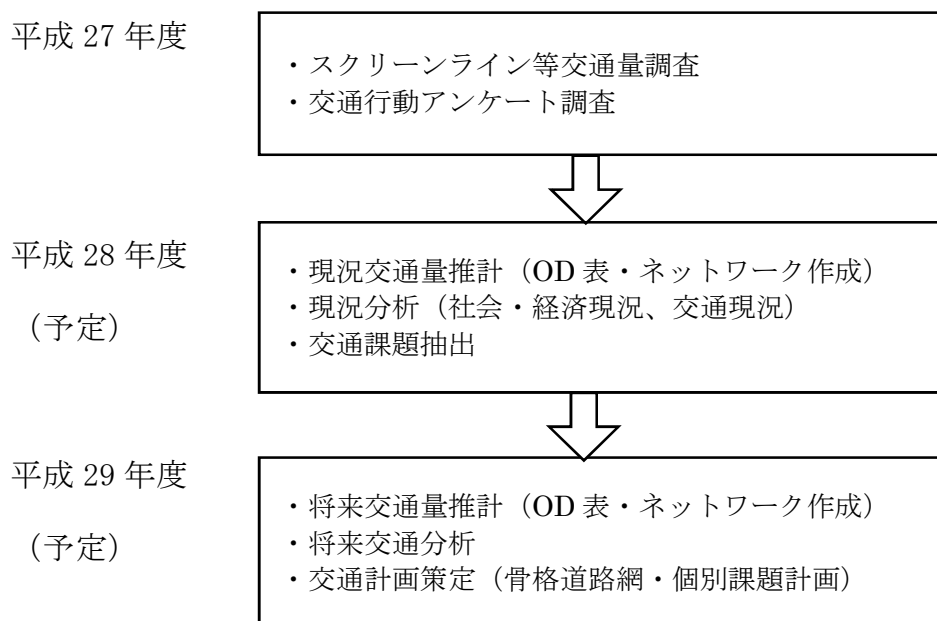
1 調査目的

由利本荘市における都市計画道路整備状況は、計画延長約 86 kmのうち、約 48 kmが改良済みとなっているが、高速道路を除く改良済み延長については 30%程度と低い状況である。

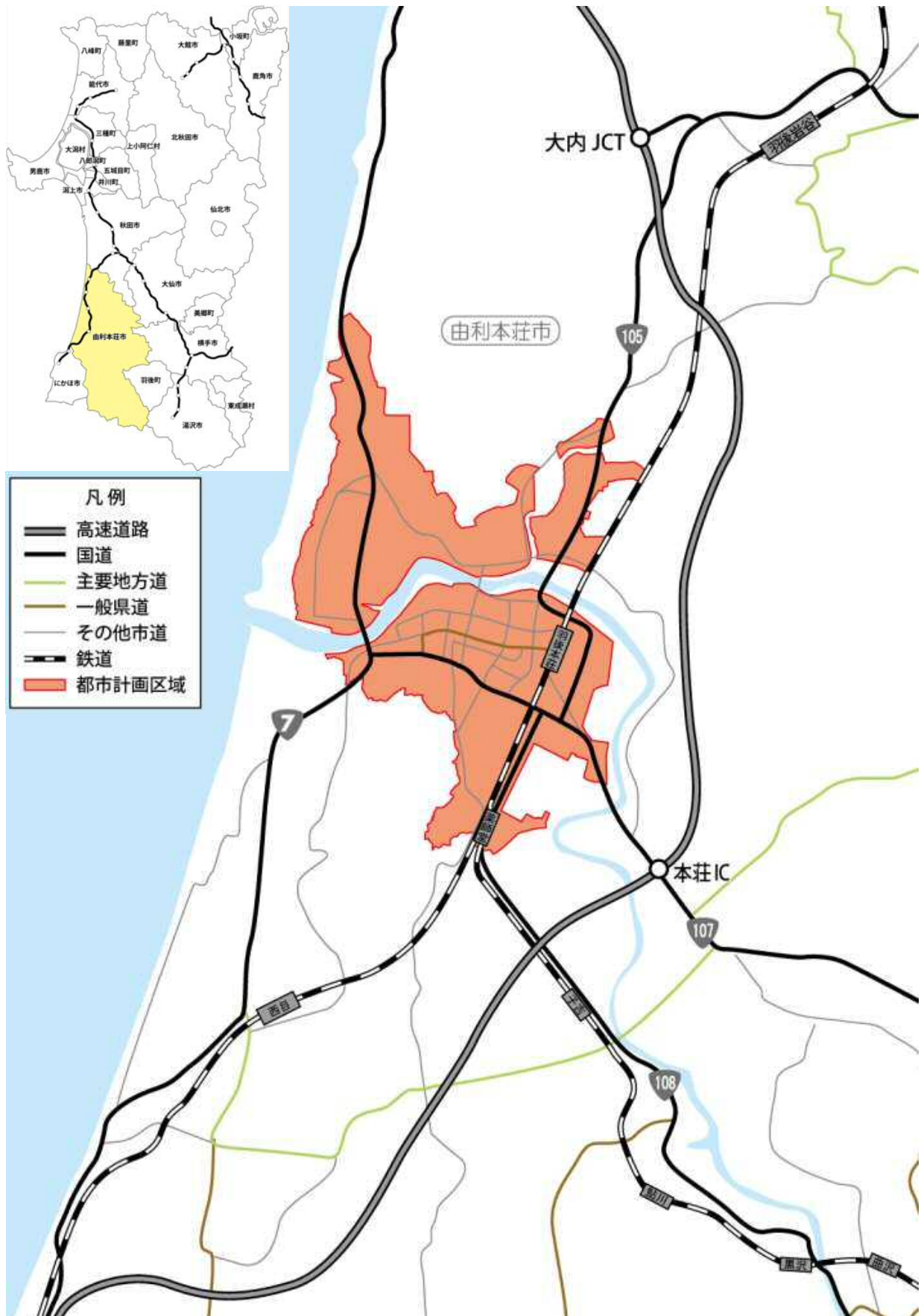
また、長期未着手路線もあり、平成 24 年に策定した「由利本荘都市計画区域マスタープラン」においては、「土地利用の変化等による合理的な都市計画道路の見直しや高齢化社会に向けた歩行者に優しい交通環境等の充実が必要」とされており、社会情勢の変化を踏まえたコンパクトな都市形成に資する、都市計画道路の再編が必要となっていることから、平成 27 年度からの 3 年間で道路網の見直しを含めた交通計画の策定を行うものである。

初年度にあたる平成 27 年度は、都市交通の実態を把握し多様な課題に対応した計画策定のための基礎資料とすることを目的として、交通実態調査及び交通量調査を実施する。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

4-1 交通実態調査

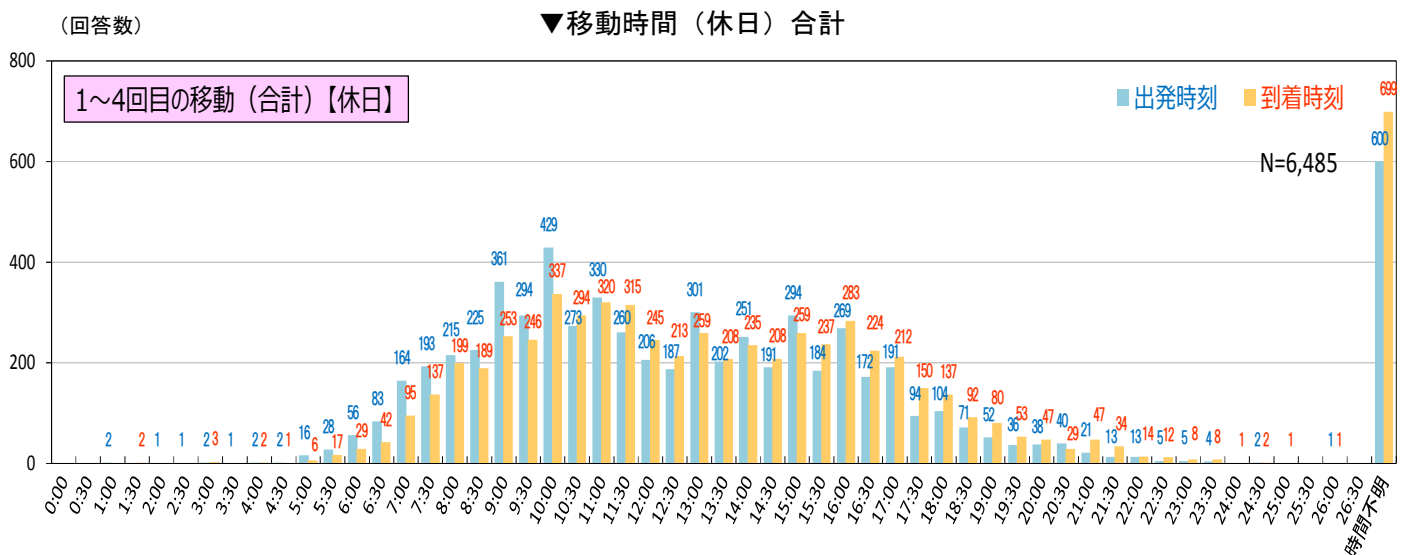
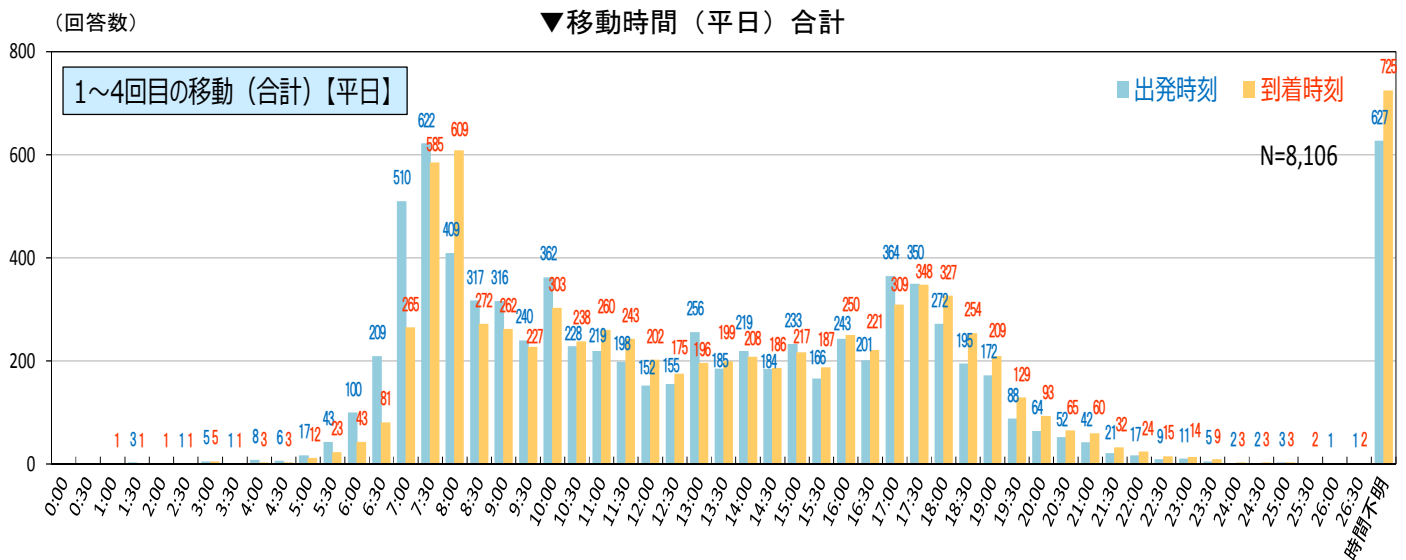
自動車を対象とした道路交通センサスの実施に合わせて、鉄道・バス等の交通手段の利用も含めた市民の交通行動を把握するために、交通行動アンケート調査を実施した。

調査対象	由利本荘市民のうち15歳以上の住民約8,000名を対象 ※現在の市内人口72,324人(15歳以上)、誤差5%、回収率30%と想定した場合に信頼性が担保できる2,300票程度が確保できる配布数として8,000人を設定																		
調査方法	<p>対象地区を抽出(地域のバランスを考慮しながら8,000名を越えるように抽出)し、郵送により配布・回収</p> <p>【対象者抽出の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧市町8地域別(旧本荘市については町内別)に対象者を抽出 ・本荘地域(旧本荘市)の都市計画区域内については、交通行動が多様であることが想定されるため、抽出率を高く設定 <p style="text-align: right;">▼由利本荘市の地域・地区区分</p> <table border="1" data-bbox="890 790 1457 981"> <thead> <tr> <th>旧市町村名</th> <th>地区名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本荘市</td> <td>本荘、南内越、子吉、小友、石沢、北内越、松ヶ崎</td> </tr> <tr> <td>矢島町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岩城町</td> <td>道川、亀田</td> </tr> <tr> <td>由利町</td> <td>西滝沢、前郷、鮎川</td> </tr> <tr> <td>大内町</td> <td>岩谷、下川大内、上川大内</td> </tr> <tr> <td>東由利町</td> <td>黒淵、田代、館合、老方、蔵、法内、宿</td> </tr> <tr> <td>西目町</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥海町</td> <td>川内、直根、笹子</td> </tr> </tbody> </table>	旧市町村名	地区名	本荘市	本荘、南内越、子吉、小友、石沢、北内越、松ヶ崎	矢島町		岩城町	道川、亀田	由利町	西滝沢、前郷、鮎川	大内町	岩谷、下川大内、上川大内	東由利町	黒淵、田代、館合、老方、蔵、法内、宿	西目町		鳥海町	川内、直根、笹子
旧市町村名	地区名																		
本荘市	本荘、南内越、子吉、小友、石沢、北内越、松ヶ崎																		
矢島町																			
岩城町	道川、亀田																		
由利町	西滝沢、前郷、鮎川																		
大内町	岩谷、下川大内、上川大内																		
東由利町	黒淵、田代、館合、老方、蔵、法内、宿																		
西目町																			
鳥海町	川内、直根、笹子																		
調査内容	<p>内容は、指定する平日、休日各1日の交通行動(何を使って、どこに何の目的で移動したか)、個別交通手段の評価等とする。なお調査票はA3見開き両面分とし、記入しやすいよう設問内容や体裁に配慮し作成する。以下に設問構成案を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①指定する平日、休日1日の交通行動(出発地、目的地、交通手段、移動目的) ②道路整備に関する意見・希望(例:羽後本荘駅自由通路、未着手都市計画道路等) ③公共交通に関する意見・希望 ④歩行者・自転車利用環境に関する意見・希望 ⑤回答者属性(性別、年齢、住所、職業、免許・自動車保有状況、車で送迎してもらえる家族の有無等) 																		

【調査結果】

(1) 移動時間

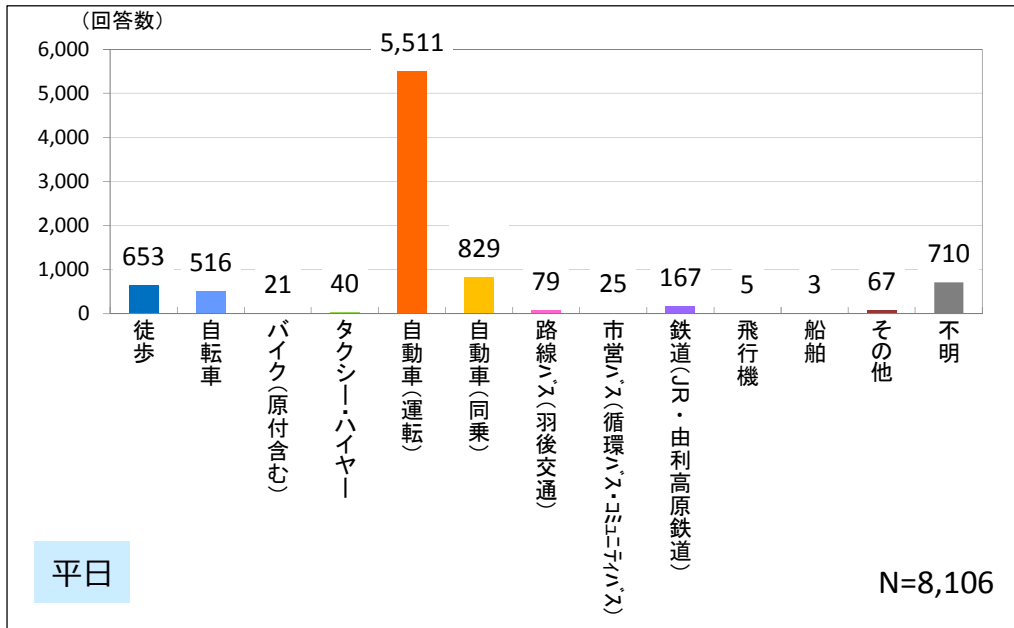
- ・平日は出勤の移動が多いため、朝 7～8 時頃に移動のピークが来ており、次いで夕方 17～18 時は勤務後の帰宅等の移動が多いものと想定される。
- ・休日は平日と比べ移動のピークがなく、人によってそれぞれ移動の傾向が異なっている。



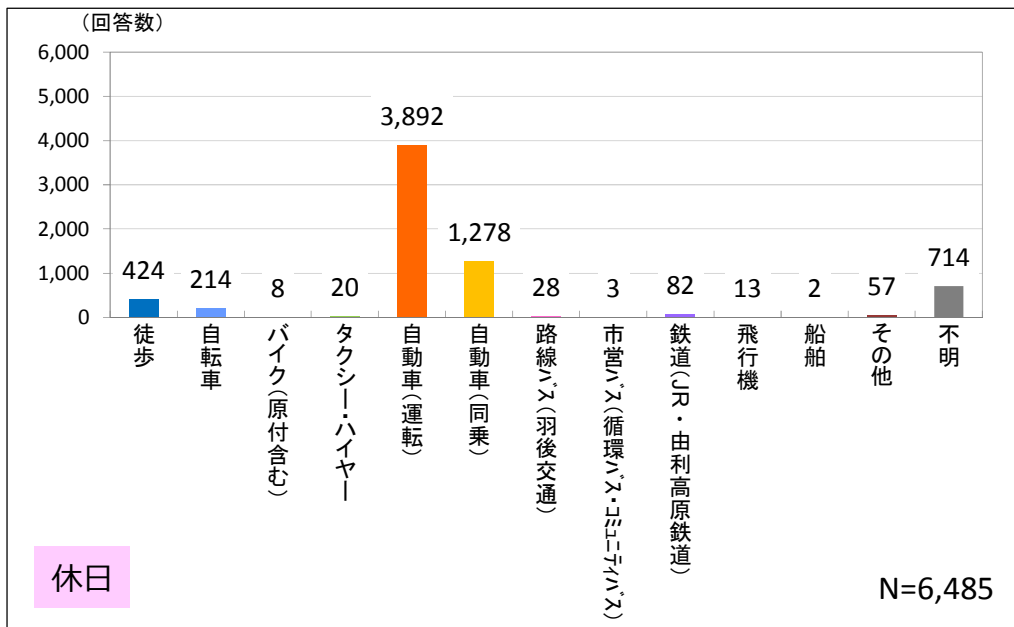
(2) 移動交通手段

- ・ 1 回の移動の中で自動車（運転または同乗）を使う方は全体の約 8 割を占めており、不明を除くと 9 割以上は自動車での移動である。
- ・ バスや鉄道の利用者は非常に少ない。

▼移動交通手段（平日）



▼移動交通手段（休日）

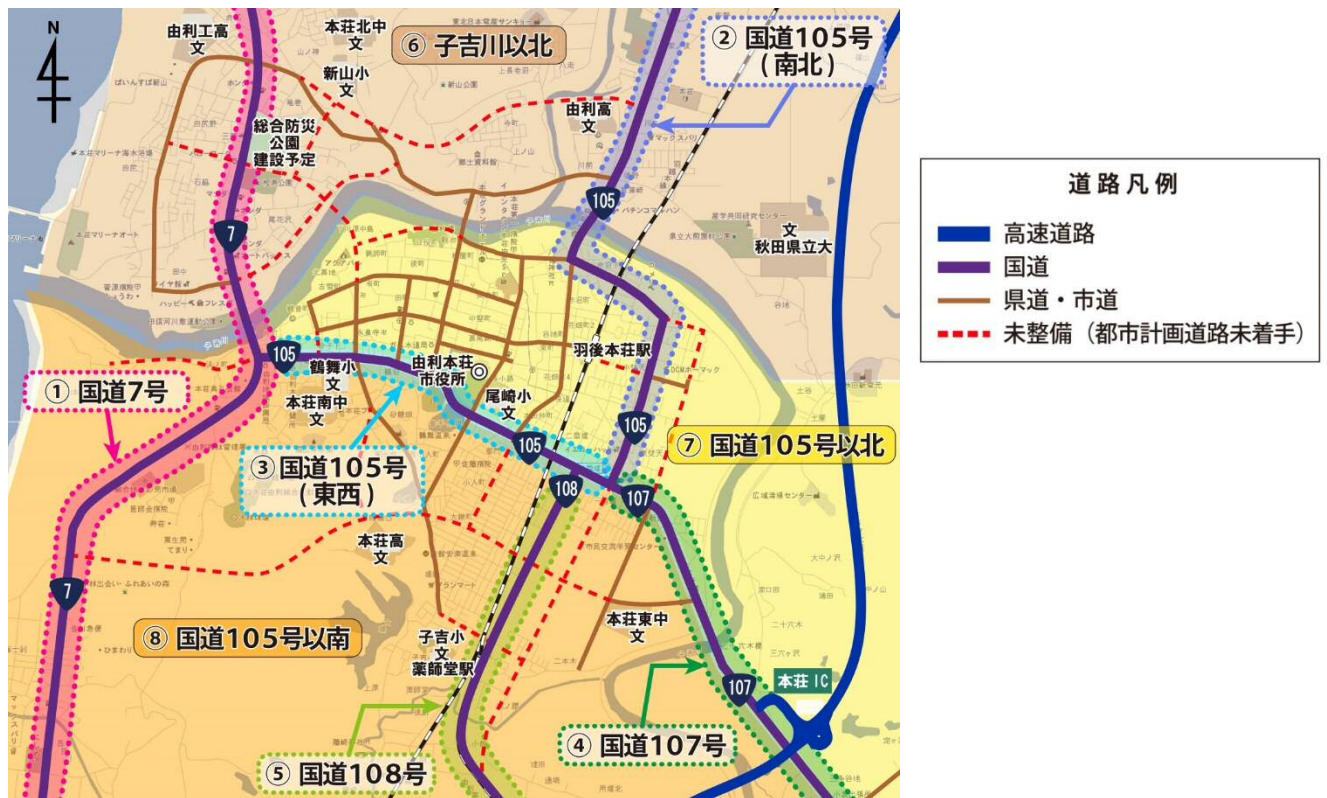


【道路整備に関する意見】

(1) 本荘市街地部の道路の整備必要性

① 主な路線・エリア別

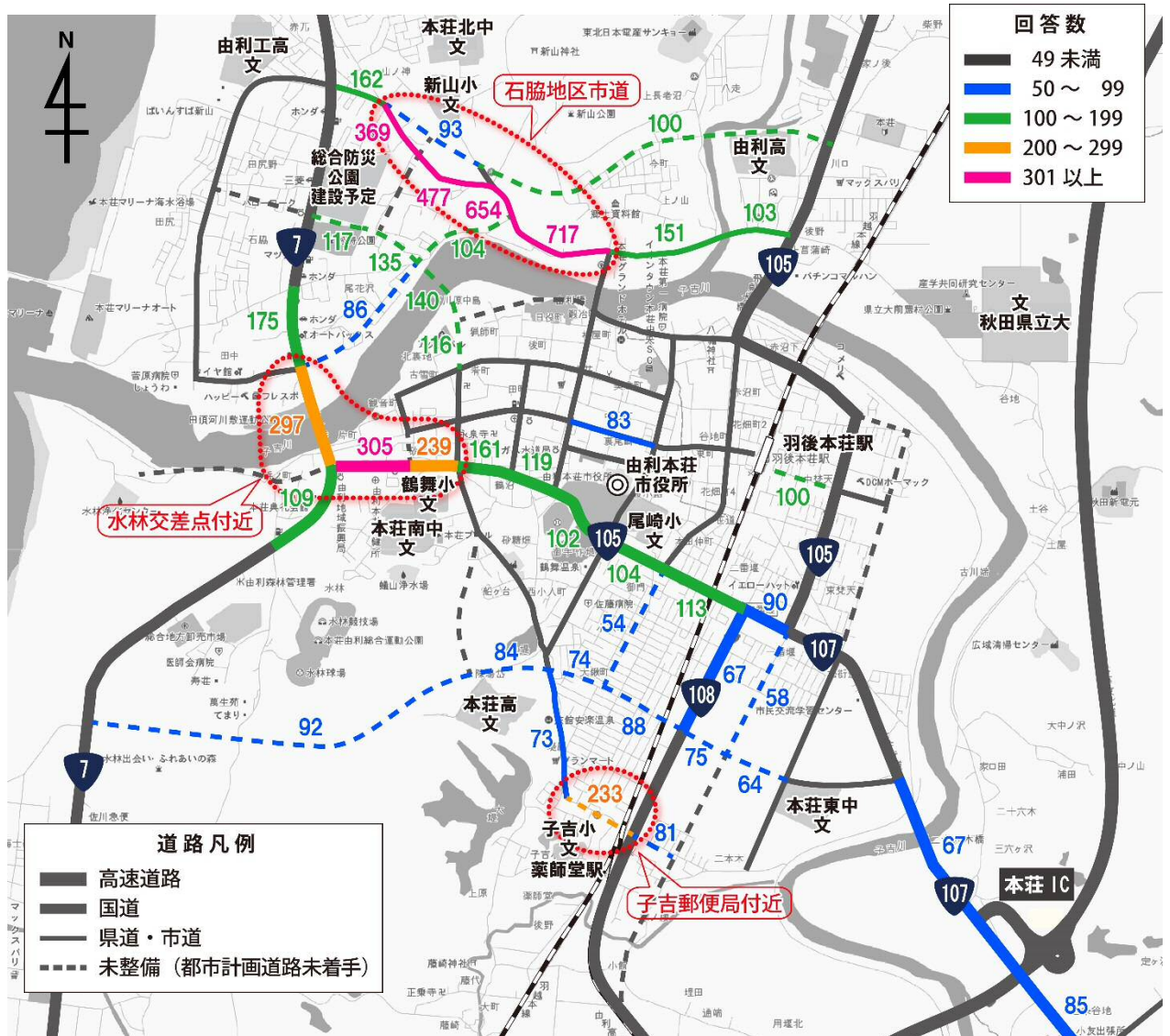
- ・ 主な路線とエリアに大別すると、路線では国道 105 号（東西）が最も多く、エリアでは子吉川以北が多い。（エリアには主な路線は含まない）
- ・ 主な路線で回答の多かった国道 105 号（東西）は「渋滞している」という回答が最も多く、次に「車線数が少ない」という回答が多いことから、渋滞解消に向けた 4 車線整備が求められており、路線で次に回答が多かった国道 7 号も同様の傾向である。
- ・ 主なエリアで回答の多かった子吉川以北は「道幅が狭い」という回答が最も多く、現道の拡幅の要望が高いことが分かる。
- ・ その他の主な路線の特徴として、国道 105 号（南北）は「交通事故が多い・危険」が多い。
- ・ その他のエリアの特徴として、「道幅がせまい」、「新しく道路がほしい」という回答が多く、中心部には都市計画道路の未整備区間等があることから、新規整備の必要性が高いものと想定される。



② 区間別回答数

- ・ 区間別の回答数を見ると、石脇地区の市道が最も回答数が多く、道路整備の必要性が高いと言える。
- ・ 次いで水林交差点付近、子吉郵便局付近の回答が多い。

▼ 区間別回答数



※回答数が 50 以上の箇所のみ回答数を表示

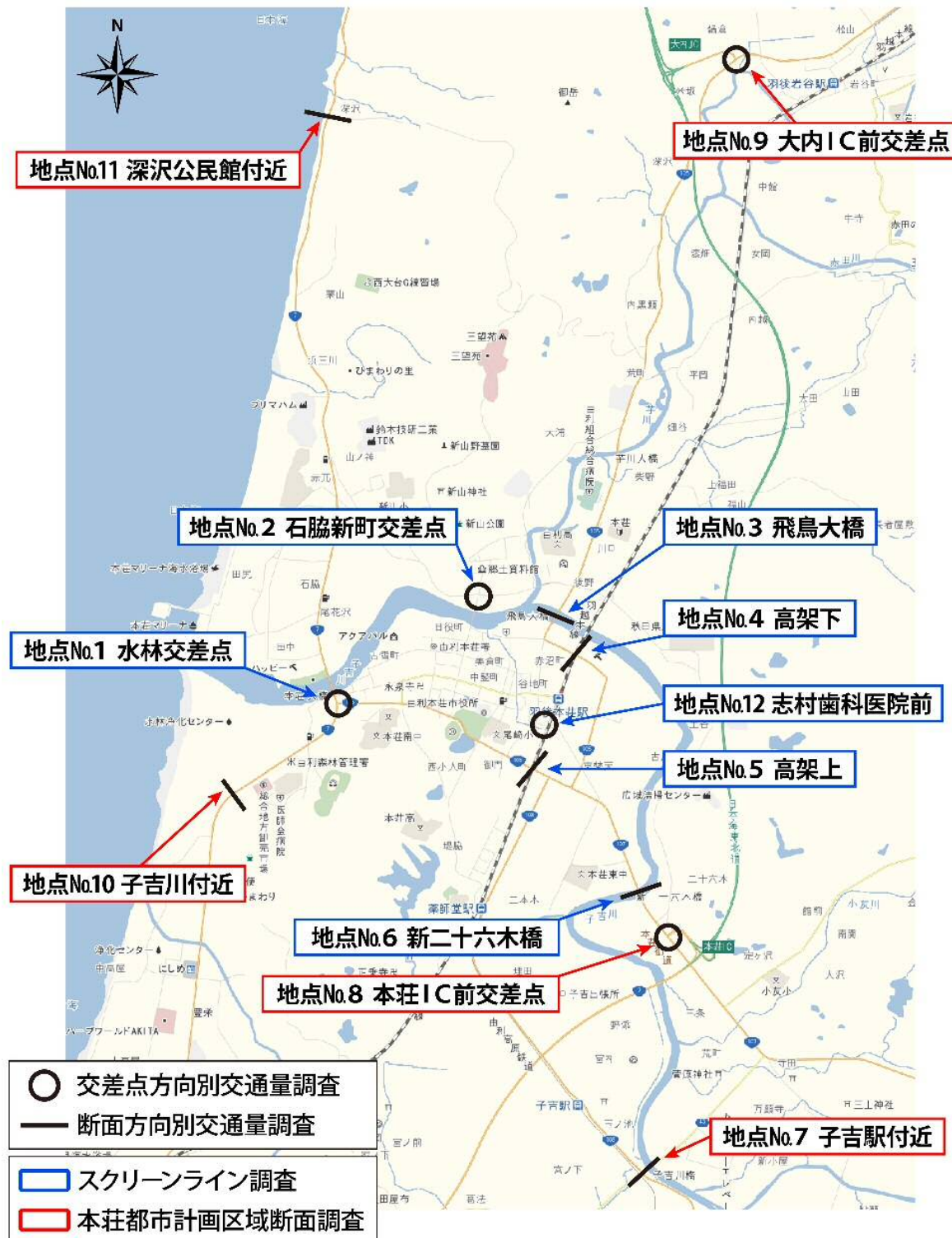
③徒歩や自転車での移動に関する意見

- ・本荘市街地で徒歩や自転車での移動をしている方は約2割と少なく、毎日という方は1割以下である。
- ・徒歩や自転車での移動先で最も多いものはスーパーであり、日常の買い物を近所である場合に徒歩や自転車を利用していることが分かる。
- ・徒歩や自転車で困っていることで最も多いものは「冬期の積雪時に移動ができない・移動しづらい」であり、次いで「歩行者と自転車が同じ歩道を通るので危険」という意見が多い。

4-2 交通量調査

道路交通センサスで把握されるOD表を実際の交通量に整合させるとともに、次年度以降の交通量推計の信頼性向上を図る指標となる交通量を観測する。

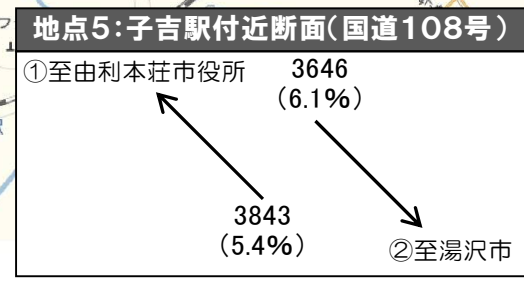
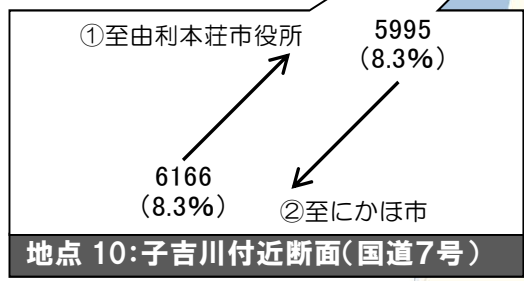
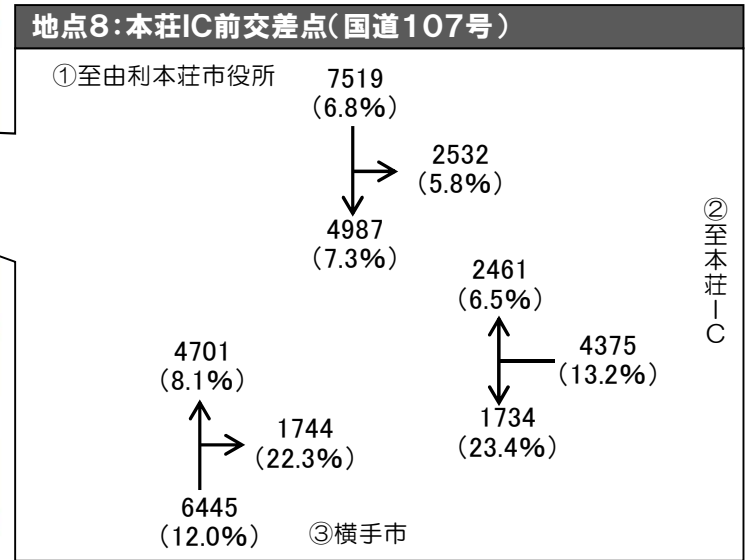
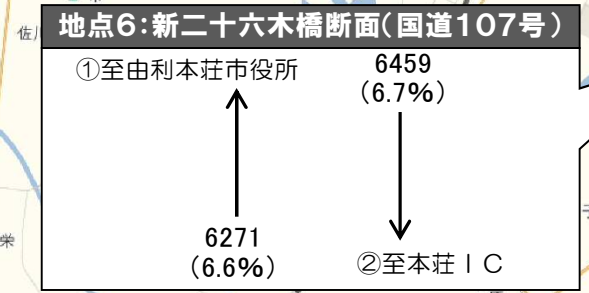
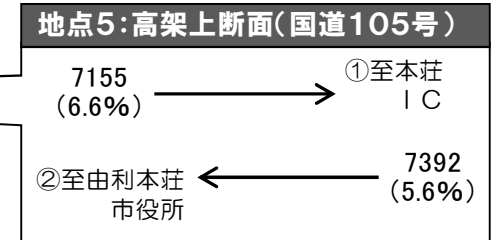
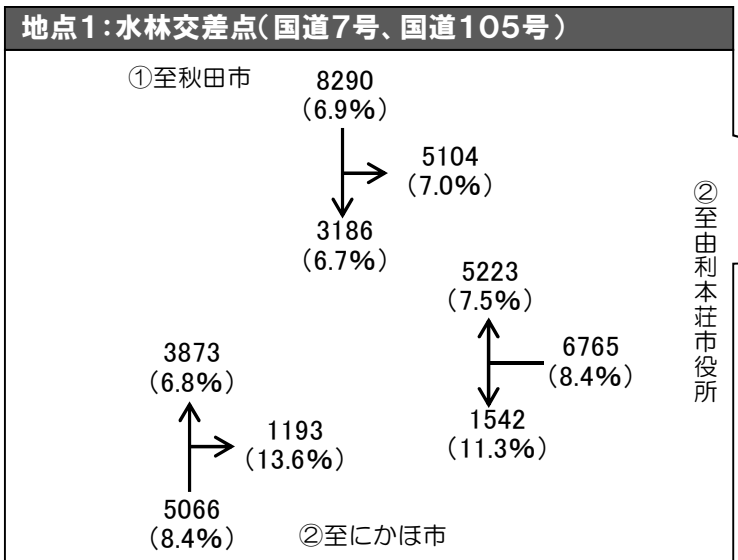
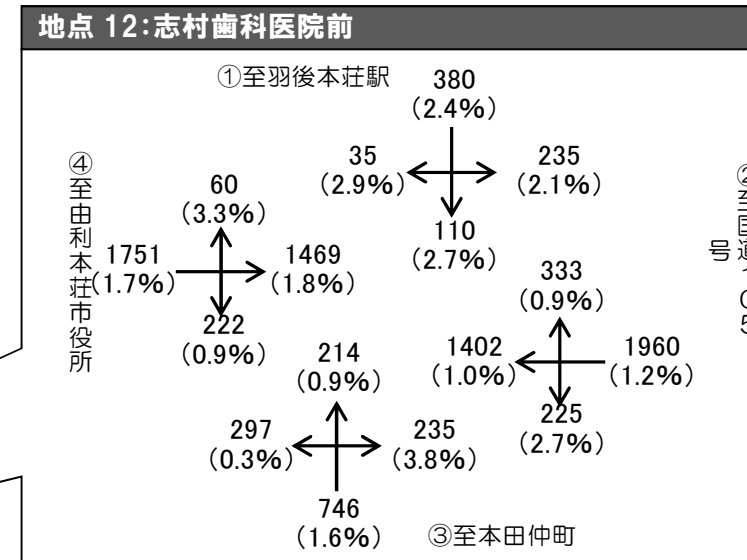
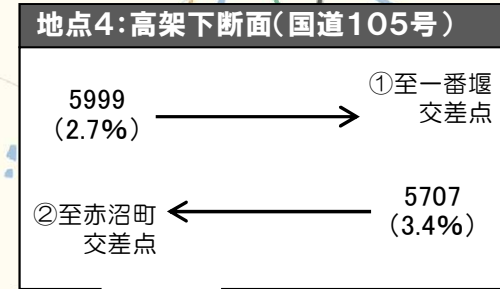
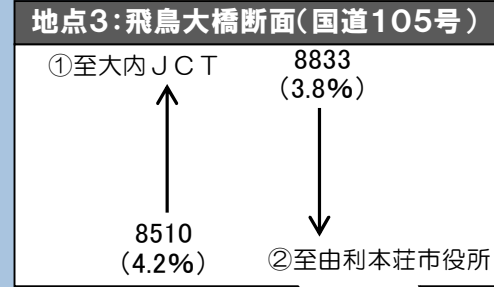
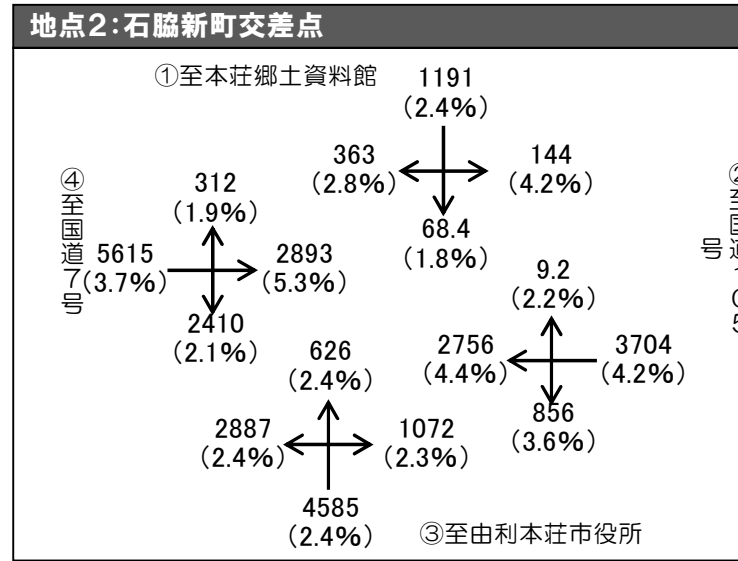
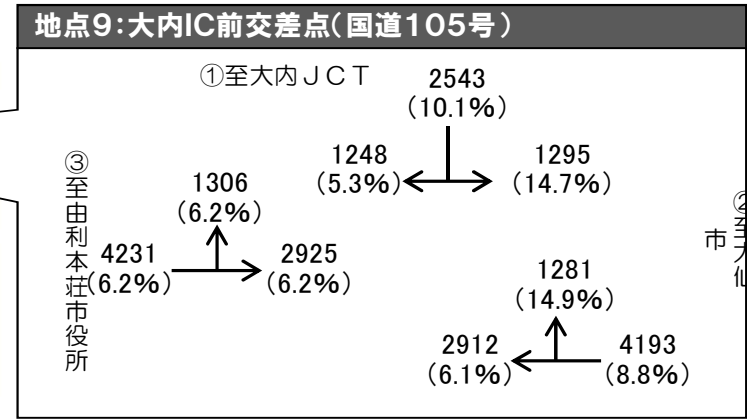
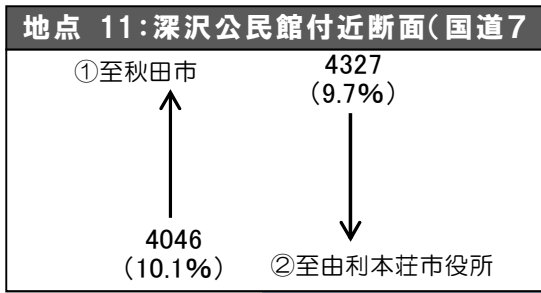
▼調査対象箇所



【調査結果（由利本荘市内）】

1 2時間調査結果（7:00～19:00）

自動車類交通量



○○○ : 自動車類計 (台/12h)
 (○○%) : 大型車混入率

○ 交差点方向別交通量調査
 — 断面方向別交通量調査

